

研究課題：造血幹細胞移植後に肝類洞閉塞症候群を発症した小児に対するデフィブ  
ロタイドの効果

1. 研究の目的

造血幹細胞移植後に肝類洞閉塞症候群を発症した小児に対するデフィブ  
ロタイドの効果について、当施設にて後方視的検討を行います。

2. 研究の方法

電子カルテを用いて情報を確認します。

3. 研究期間

2021年3月31日まで。

➤症例①

入院期間(2019年9月7日から2019年10月20日)、投与期間(2019  
年9月8日から2019年10月20日)

➤症例②

入院期間(2019年11月5日から2020年8月8日)、投与期間(2020  
年2月21日から2020年6月4日)

➤症例③

入院期間(2020年1月5日から2020年9月14日)、投与期間(2020  
年7月29日から2020年8月26日)

➤症例④

入院期間(2020年2月23日から2020年3月2日)、投与期間(2020  
年2月27日から2020年3月1日)

4. 研究に用いる資料・情報の種類

電子カルテを用います。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

学術集会での発表や論文掲載などをします。

6. 研究組織

研究施設 埼玉県立小児医療センター

研究責任者 血液・腫瘍科 部長兼科長 康 勝好

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2021年3月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター  
医事担当（代表 048-601-2200）